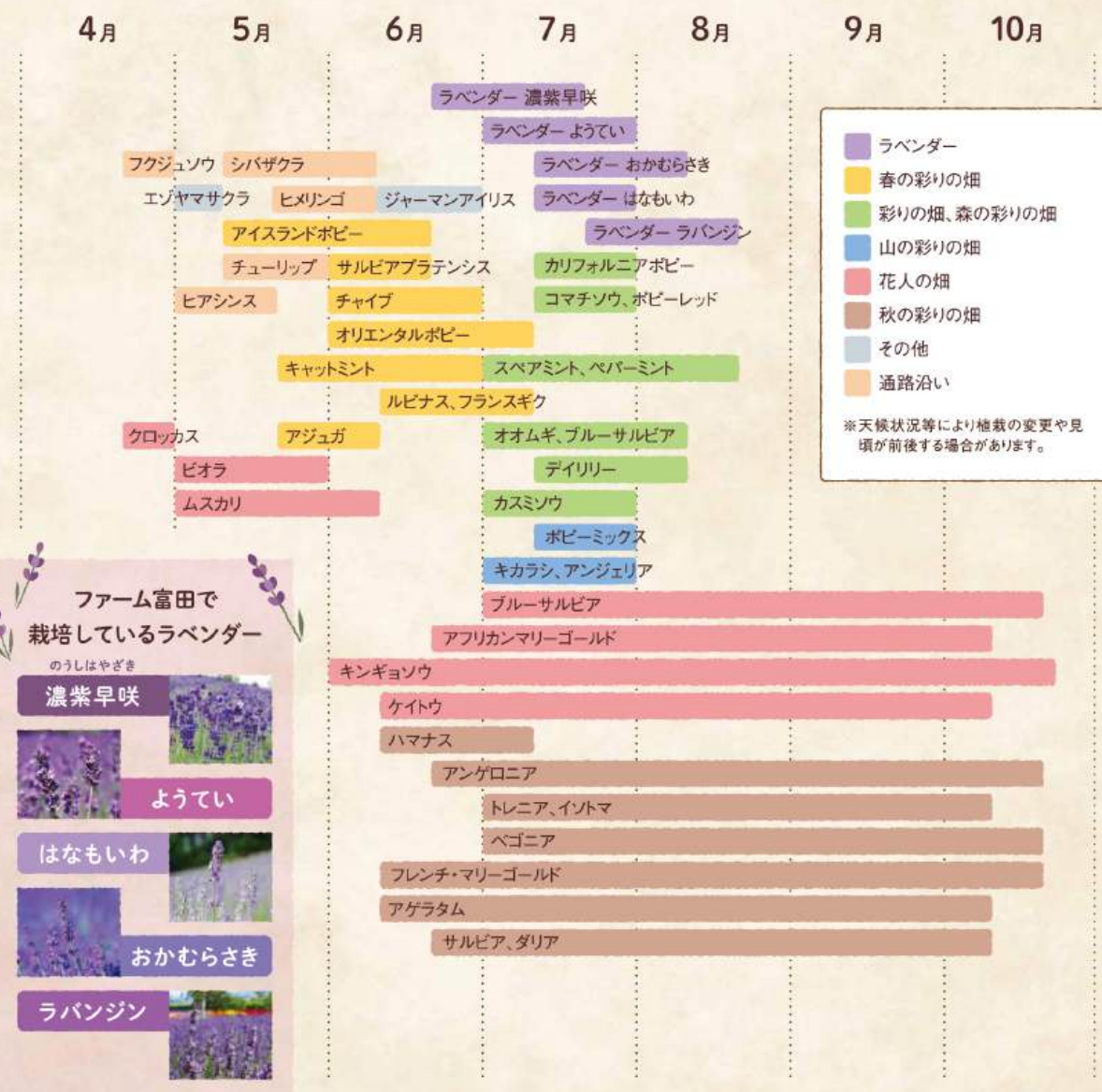


ファーム富田 園内ガイドマップ



ファーム富田 花ごよみ

園内では合計100種類以上の花々が咲きます。但し、開花情報は例年の目安です。予めご了承ください。



ファーム富田から車で約7分

「ラベンダーイースト」にも お立ち寄りください

ラベンダーオイル生産のために作られた、日本最大級のラベンダー畑です。
約9万株のラベンダーの向こうには十勝岳連峰や夕張山地の美しい山並みが広がります。
フランス製のラベンダー刈取機での収穫風景をご覧いただけることがあります。



- 入園料 / 無料
- 営業期間 / ラベンダー開花期のみ

- 営業期間・時間・内容は天候その他により変更になる場合があります。詳細はお問い合わせください。
- ラベンダーイーストへの公共交通機関はありません。

- ラベンダー製品販売
- ラベンダーソフトクリーム販売
- おむつ替えスペース
- トイレ
- 車イス対応トイレ



南に夕張山地



東に十勝岳連峰

ラワーレの舎

ラベンダーイーストのウエルカムハウスです。「ラワーレ」は、ラベンダーの語源であるラテン語の「ラワーレ(=洗う)」から名付けられました。ファーム富田のオリジナル製品、ソフトクリーム、ドリンクを販売しています。



ラベンダーイーストの湯(足湯)

ラベンダーイーストは水が豊富に湧き出る場所です。園内には開園当初から自噴井戸があり、その水質を調べてみたところ、「温泉」であることがわかりました。このお湯は【メタケイ酸】を含んだ刺激の少ないお肌にやさしいお湯です。「風香る丘」で足湯として楽しんでいただけるようにつくりました。ラベンダーを眺めながら癒しのひとときをお過ごしください。



乗車時間 約15分
受付/ラワーレの舎売店内

ラベンダーバス

ラベンダー畑の中を進みながら、広大なラベンダー畑や十勝岳連峰、夕張山地をご覧いただけます。車内には横向きの座席が二列あります。前席は7人が個々に座れる1人掛けシート、後席は高い目線で景色を楽しめる10人掛けベンチシートで、どちらも開放感があります。目前に広がる大パノラマを爽やかな香りと心地良い風と共に楽しまってください。



開園時間中自由にお入りいただけます

ファーム富田の歴史

中富良野に鉄を下ろした富田家

1903年(明治36) 初代 富田徳馬が福井県より入植する。



すべてはここから～ラベンダーの未来を夢見た最盛期

1958年(昭和33) 香料用作物としてラベンダーの栽培を始める。

1970年(昭和45) 富良野地方でのラベンダー栽培がピークを迎える。

地方全体で230ha以上、約250戸の農家がラベンダー栽培を手がける。



苦境に立たされるラベンダー農家

1972年(昭和47) 合成香料の急激な技術進歩と貿易の自由化による安価な輸入香料の台頭。

1973年(昭和48) 香料会社がラベンダーオイルの買い上げ中止を発表する。

富良野地方でのラベンダー栽培農家は富田家一軒だけとなる。「もうラベンダーを生かす道はない」とあきらめかけていた。



ラベンダーの花と香りを生かした農場づくりへ新しい夢をかける

1976年(昭和51) ラベンダー畑が国鉄のカレンダーにより全国に紹介されて次第に観光客が訪れ始める。



ラベンダーサシエ誕生。

1977年(昭和52) 旅行者からポプリやサシエ(匂い袋)の作り方を習う。工夫を凝らしたポプリやサシエを作り、玄関先での販売を始める。

1980年(昭和55) 独自に改良した蒸留機を作り、ラベンダーオイルの生産を始める。

念願のオリジナル香水「フラノ」誕生

1984年(昭和59) 化粧品製造業の免許を取得。オリジナル香水「フラノ」の製造開始。

1987年(昭和62) オリジナル化粧石けんの製造を始める。

プロヴァンスのラベンダー生産者組織より修道騎士の称号を受ける

1990年(平成2) 南フランスのラベンダー生産者組織から、「オートプロヴァンス・ラベンダー修道騎士」の称号を授与される。

ラベンダーオイル品評会において「ラベンダーオイルおかむらさき」が第1位を獲得する。



1993年(平成5) ウェルカムハウスである「花人の舎」がオープンする

1999年(平成11) 冬期間のラベンダーの開花に成功し、翌年「グリーンハウス」がオープンする。

2003年(平成15) 日本最大級のドライフラワーアレンジメントを展示する「ドライフラワーの舎」がオープンする。

2008年(平成20) 日本最大級のラベンダー畑「ラベンダーイースト」がオープンする。

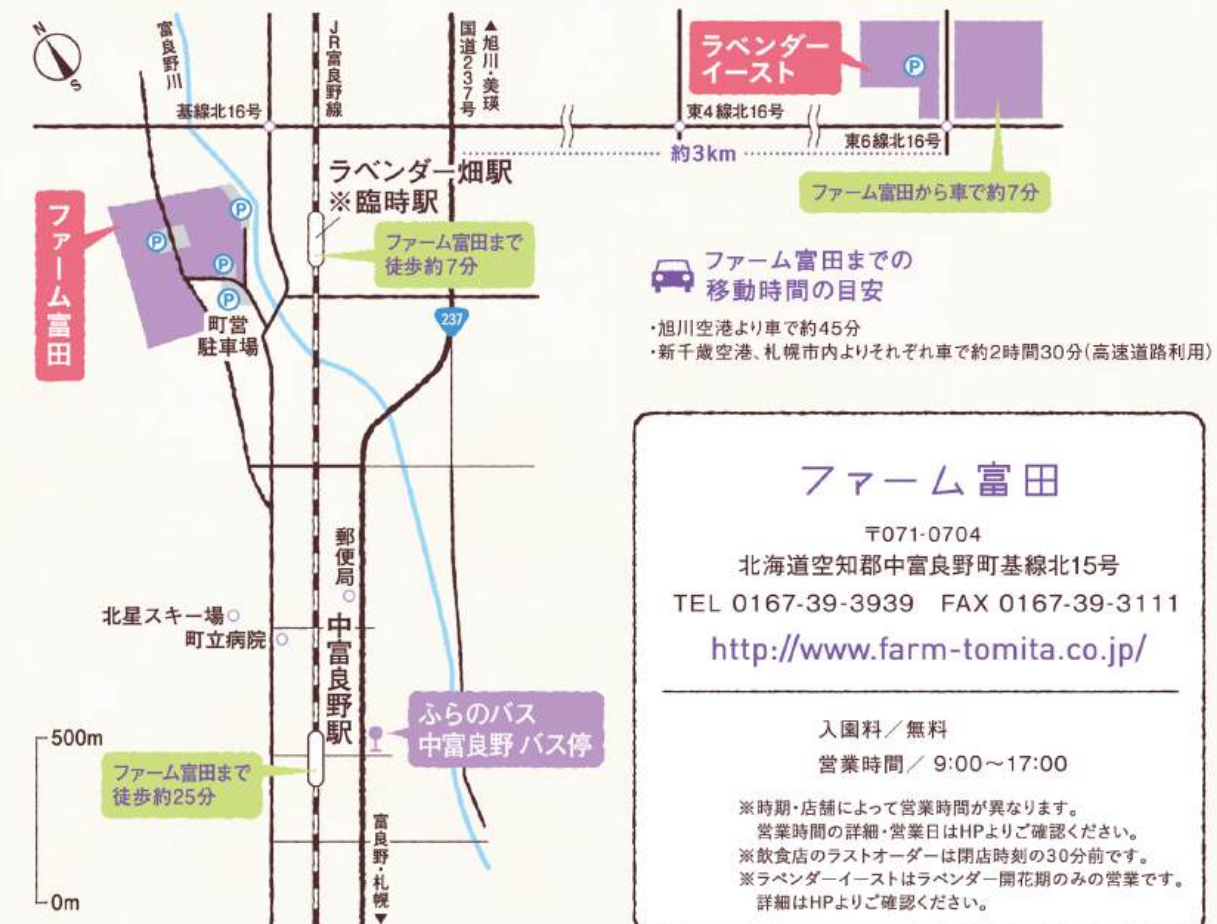
ラベンダー修道騎士の称号を再び授与

2019年(令和元) 南フランスにて、「ラベンダー修道騎士」の称号を改めて授与される。

2022年(令和4) 南フランスにて、「ラベンダーコマンダー」の称号を授与される。



2023年(令和5) ラベンダーイースト園内に「源泉かけ流し天然温泉ラベンダーイーストの湯」がオープンする



FARM TOMITA

GREEN SEASON

ファーム富田のお花畑は13カ所。
このガイドマップを片手に、会いに行ってみてください。
花はじつと動かずに、あなたの訪問を待っています。

ラベンダー製品販売

ラベンダーソフトクリーム販売

富良野メロン販売

お食事

コインロッカー

トイレ

車イス対応トイレ

おむつ替えスペース

園内は全面禁煙です。

ペットの入園はお断りしております。

園内でのドローンの使用は禁止です。

園内へのごみの持ち込みはお断りします。園内での散策の際は絆による虫刺され、また、木の根や段差がある箇所では足元にご注意ください。

営業時間外のご入園はお控えください。各施設の営業期間・時間・内容は天候その他により変更になる場合があります。

はなびと いえ

1 花人の舎

週間営業

スタンドグラスから淡い光が差し込むウエルカムハウスです。1階はオリジナル製品を販売するショップ、2階は日本のラベンダーとファーム富田の歴史を紹介する資料室と香りの体験室です。

限定商品
あります

いえ

2 ドライフラワーの舎

週間営業

日本最大級のドライフラワー展示スペースがあります。アレンジメントは「春 Hanami」と題して、オランダのフラワーデザイナーであるレン・オークメイ氏が手がけました。

限定商品
あります

OPEN / 4月下旬～10月上旬

3 カフェ ルネ

光の射すガラス造りのカフェです。旬の野菜を使ったカレーの他、じゃがいもをメインに道産食材のおいしさにこだわったメニューを取り揃えています。

限定メニュー
あります

いえ

4 ポビーの舎

OPEN / 6月下旬～8月上旬

彩りの畑への入り口に位置するお店です。オリジナル製品の他、ラベンダーソフトクリームやラベンダーラムなどを販売しています。

いえ

5 ラポートの舎

OPEN / 4月下旬～10月中旬

富良野地域の特産品とファーム富田オリジナルスイーツを販売しています。フランス語で「関係」が「ラポール」を表す「ラポール」にちなみ名称がつけられました。

いえ

6 花の舎

OPEN / 5月上旬～10月中旬

ラベンダーの苗木やカットメロン・酸っぱいメロンパンなどのメロンパンなどを扱う苗木とメロンの専門店です。地方発送もこちらで承ります。メロンの他道産じゃがバターや餃子なども販売しています。

バスツアー(広い屋根)の上の展望デッキからは、花人の畑から秋の彩りの畑まで晴れた日には十勝岳連峰が一望できます。

いえ

7 森の舎

OPEN / 7月上旬～8月上旬

から松林の中にある展望デッキです。彩りの畑を一望できる唯一のショップです。本物のショップでは、オリジナル製品やソフトクリームの販売も行っています。彩りの畑から山の彩りの畑への散策のご休憩に、ぜひ立ち寄りください。

彩りの畑

開花時期 7月上旬～下旬

見頃 7月中旬～下旬

七色の花々が緩やかな丘を彩る、ファーム富田を代表する畑です。鮮やかな色の花の帯がならかな斜面に美しい虹をつくりだします。

森の彩りの畑

開花時期 7月上旬～下旬

見頃 7月中旬～下旬

森に囲まれた山の斜面をラベンダーやデシリイなどの鮮やかな色の花々が彩る畑です。針葉樹の深い緑の背景がラベンダーと花々の色をより一層引き立てます。

山の彩りの畑

開花時期 7月上旬～下旬

見頃 7月中旬～下旬

のどかな山林の中に、赤や白やピンクなどのポピーを中心とした色鮮やかな花々が一面に広がります。

白樺の森

見頃 5月下旬～9月下旬

200本ほどの白樺が野生している自然林です。独特の白い幹と、やさしい木漏れ日がつくる美しい景観が、周囲のラベンダーと花畑を引き立てています。

森のラベンダー畑

開花時期 6月下旬～8月上旬

見頃 7月上旬～中旬

木々に囲まれた畑の中に、畑の下から見て右手に「おかむらさき」、左手に「濃紫早咲」と左右で異なる品種のラベンダーを眺めることができます。

トラディショナルラベンダー畑

開花時期 6月下旬～8月上旬

見頃 7月上旬～中旬

ファーム富田の原点となった、最も歴史のあるラベンダー畑です。畑の上まで登れば、ラベンダーの向こうに田園風景と十勝岳連峰が一望できます。

遅咲きラバンジン畑

開花時期 7月下旬～8月中旬

見頃 7月下旬～8月上旬

ファーム富田のラベンダーの中では最も遅咲きの品種である「ラバンジン」を栽培しています。

マザーズガーデン

開花時期 4月中旬～10月上旬

見頃 6月上旬～8月下旬

その名称は祖母に由来しています。彼女が毎日のように手をかけた花々が今も咲き続けています。早春のフクジュソウから晩秋のモミジまで、50種類ほどの宿根草や花木をお楽しみいただけます。

季節の花と景色を眺めながらウォーキングコースを歩いてみよう

夏コース 約1,500m 徒歩約40分

春～秋コース 約1,100m 徒歩約20分

はなびと

花人の畑

開花時期 4月下旬～10月上旬

見頃 7月上旬～9月下旬

球根の花々とビオラの咲く春から、四季咲きの花々が咲き続ける秋まで、色とりどりの花々が、花を楽しみに訪れるお客様(花人)を出迎える畑です。

さきわい

花人ガーデン

開花時期 5月中旬～10月上旬

見頃 6月上旬～8月下旬

ハーブや宿根草などを栽培しています。小さなガーデンの中に120種類以上の植物が共存しているため、少し歩いただけでそれぞれの植物の香りや花をお楽しみいただけます。

さきわい

花人の畑

開花時期 6月下旬～8月上旬

見頃 7月上旬～中旬

花色の異なる4種類のラベンダー(ようい、はなむらさき、濃紫早咲、おかむらさき)が紫色のグラデーションをつくりだします。倅(さきわい)はファーム富田を訪れる方々の倅を願って名付けられました。

さきわい

倅の畑

開花時期 5月中旬～6月下旬

見頃 6月上旬～中旬

アイランドポピーやオリエンタルポピー、チャップなどの厳しい冬を乗り越えた宿根草が、春からラベンダーの色づく初夏まで彩る畑です。

8 グリーンハウス 週間公開

夏以外の季節でもラベンダー(濃紫早咲やデントータラベンダーなど)をお楽しみいただけます。ラベンダー以外にも色とりどりの花々や観葉植物をご覧ください。

じょうりゅう いえ

9 蒸留の舎

OPEN / 5月上旬～10月上旬

ラベンダーからオイルを抽出するための蒸留工場です。刈り取り時期には、オイルの抽出作業をご覧ください。オイルや蒸留水を販売する売店が開設されます。

いえ

10 香水の舎

OPEN / 5月上旬～10月上旬

建物は六角形でフランスの国の形をイメージしています。中に入ると手前には香水の甘い香りが漂うショップがあり、その奥の製造室ではラベンダーオイルを独自に調香した香水などの製造作業をご覧ください。

いえ

11 プロジェの舎

OPEN / 5月下旬～9月下旬

香水の舎の隣に位置することから、フランス語で「近い」を意味する「プロジェ」にちなみ名称がつけられました。香水の舎では取り扱っていないオリジナル製品を販売しています。

いえ

12 ポプリの舎

OPEN / 5月上旬～10月上旬

一部ランチタイム限定のメニューがございます。 ※ラストオーダーは開店時間の30分前です。

ファーム富田でいちばん最初に建てられた歴史あるログハウスです。テラス席では十勝岳連峰を遠望に花畑を眺めながら、旬の野菜を使ったカレー等の軽食やラベンダーのドリンク・ソフトクリームをお楽しみいただけます。

いえ

13 アルブの舎

OPEN / 6月中旬～9月上旬

フランス語で「木」を表す「アルブ」にちなみ名称がつけられたお店です。二つの塔が印象的な建物は多くの人が集う「駅舎」をイメージして建てられました。

さきわい

14 ギャラリーフルール

週間公開

フランス語で「花」を表す「フルール」にちなみ名称がつけられた、ファーム富田の四季を紹介する写真館です。石積み建物は絶景の眺めになっており、四季折々の写真を眺めています。

※店舗によって営業時間が異なります。詳細はホームページをご覧ください。